

人権委員会だより

2018. 12. 18 発行

文化祭 「北条きら里ショップ」 報告

11月2日に行われた文化祭での、人権委員会の活動を紹介します。

人権委員会では、商業研究部と一緒に「ひだま里」、「社会福祉法人 北条育成園」、「NPO法人SORA きらりのウッディ」から商品を仕入れ、その3か所の福祉施設の皆さんが心を込めて作っている商品を販売させていただきました。

店の名前は、「北条育成園」の「北条」、「きらりのウッディ」の「きら」、「ひだま里」の「里」を組み合わせて、昨年と同様に「北条きら里ショップ」としました。

今回の人権委員会だよりは、それぞれの福祉施設を訪問した時の様子と、文化祭の活動を紹介します。

1 施設訪問、事前準備について

私たちは、文化祭で商品を販売させていただくにあたり、3つのグループに分かれて、事前に各施設を訪問しました。それは、それぞれの商品が、どんなところで、どんな想いを込めて作られているのかを、実際に見せていただきながら学び、お話を伺うためです。訪問して教わったことや気付いたことを、各グループで模造紙にまとめて、文化祭で展示しました。また、商品を紹介するPOPや広告を作成しました。



《北条育成園 訪問》

感想：「福祉施設を訪問して」

- ・ 「ひだま里」の訪問では、とても楽しそうに仕事をされていたのが印象的でした。ゆっくり丁寧に仕事をされていて「自分の力でやろう！」という気持ちがとても伝わってきました。障がいのある方がお仕事をされるのは大変なことだと思うのですが、ご苦労されながら一つ一つの商品が大切に作られている様子を見学させていただき、自分もしんどいことがあっても、自分にできることに一生懸命取り組めるようになりたいと感じました。
- ・ 福祉施設で心を込めて商品を作っている様子を見学して、福祉に対する興味や理解が今までよりも深まりました。商品を見ていると、障がいがあっても、自分ができることを分担することでこんなに素敵な商品を作ることができるんだなと思いました。



《ひだま里 訪問》

《きらりのウッディ 訪問》



感想：「福祉施設の紹介、POP広告を作って」

- どのようにすれば来てくれた方が喜ぶか、興味を示してもらえるか等、試行錯誤をしながら、紹介資料などを作成しました。
- 9月に施設を訪問させていただいて学んだことを、レポートとして模造紙にまとめたり、多くのお客様に足を運んでもらえるようにチラシを作ったり、準備は本当に大変だったけど、他の人権委員の人とも仲良くなれたので、活動をしてきてよかったと思いました。



2 文化祭「北条きら里ショップ」を体験して

文化祭では、人権委員会と商業研究部で福祉施設から仕入れた商品と、風早焼を心を込めて販売しました。

感想：「北条きら里ショップでの販売活動」

《開店準備 商品をきれいに並べました》

- お客様の笑顔がたくさん見ることができて嬉しかったです。初めて販売する側の立場になり、どうすればお客様が喜んでくれるか、また来なくなるかを考えて行動することができたので良かったです。
- お客様が、販売しているクッキーやクラッカーを見て、「おいしそう！」と話しているのを見て、これを作った施設の方は喜ぶだろうなと思いました。その気持ちを考えると、なんだか嬉しくなりました。
- 商品をたくさん購入していただき、メッセージも書いてくださったので、きっと施設の方も喜ばれるだろうなと嬉しくなりました。製造現場を実際に訪問させていただき、見学した時に見た商品が売れていくことが、本当に嬉しかったです。



3 販売した商品の紹介

「北条育成園」……クッキー（チョコチップ・ハート・オートミール）

一茶の道せんべい（青のり・ごま・グリーンピース・ピーナッツ）、
チーズクラッカー

「きらりのウッディ」……マグネットいろいろ、クッキーいろいろ、マドレーヌ

「ひだまり」……シフォンケーキ（バニラ・抹茶・ココア・紅茶・かぼちゃ）

4 お客様の感想と私達からのメッセージを届けました。

文化祭で商品を買ってくださったお客様からの感想と私達のメッセージを、各施設に届けました。施設の方からは「メンバー、スタッフ共々、大変嬉しく思っています。」という言葉をいただき、販売活動を行って本当に良かったと改めて感じました。今後も、福祉施設のことや作っている商品のことを多くの人に知っていただけるような活動をしていきたいです。お買い上げいただいた多くの皆さん、感想を書いてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

